

ビジネスのあらゆる領域を網羅する 中堅・中小企業向けクラウドERPソリューション すべての業務を一元管理する SAP® Business ByDesign®



多様化する現代のビジネス環境において、企業に必要なのは、変化に対する柔軟性を備えた事業経営基盤です。ERPは企業の経営効率化に非常に有用ですが、従来はコストや運用負荷の高さから、大企業向けのシステムと考えられてきました。

しかし今では、柔軟な拡張性を備え、短期導入が可能なクラウド型のソリューションが登場し、ビジネスのあらゆる領域を**一気に通貫に見通せる基幹システムを最小限のコストで整備できる**ようになっています。SAP® Business ByDesign® は、中堅・中小企業のニーズに最適な機能を網羅し、ビジネスの効率向上、事業拡大への対応を支援します。

従来のERP導入に伴う課題をクリア

あらゆる業務領域の情報を一元管理し、可視化するERPは、企業の強力な経営基盤となります。しかし従来のERPは、特に中堅・中小企業にとっては導入のハードルが高いものでした。

その理由の1つは、ビジネスプロセスの再設計です。大企業同様に複雑なビジネス環境に置かれている中堅・中小企業にとって、プロセスの見直しが必要とわかっていても、少人数で行う事業運営と並行して、「あるべき」プロセスを検討するのは容易なことではありません。また、システム導入に要するコストと時間も課題となります。多額の初期投資と長期間にわたる導入プロジェクトに十分なリソースを充てることは困難な上、ビジネスの成長を見越した追加投資も想定しておく必要があります。さらに、運用負荷が高いこともボトルネックでした。5～7年に1度のアップグレードが前提となる基幹システムを限られたIT要員で運用/管理していくことは、現実的ではないと考える企業が多かったのです。

しかし現在、これらの懸念を一掃するERPが存在しています。豊富なビジネスプロセスを提供し、導入/運用の負荷を低減し、シンプルな経営基盤を実現するクラウド型ソリューション **SAP® Business ByDesign®** です。

SAP® Business ByDesign® :

3つのメリットで持続的な成長基盤を実現

シンプルかつ多彩なビジネスプロセスで業務を効率化

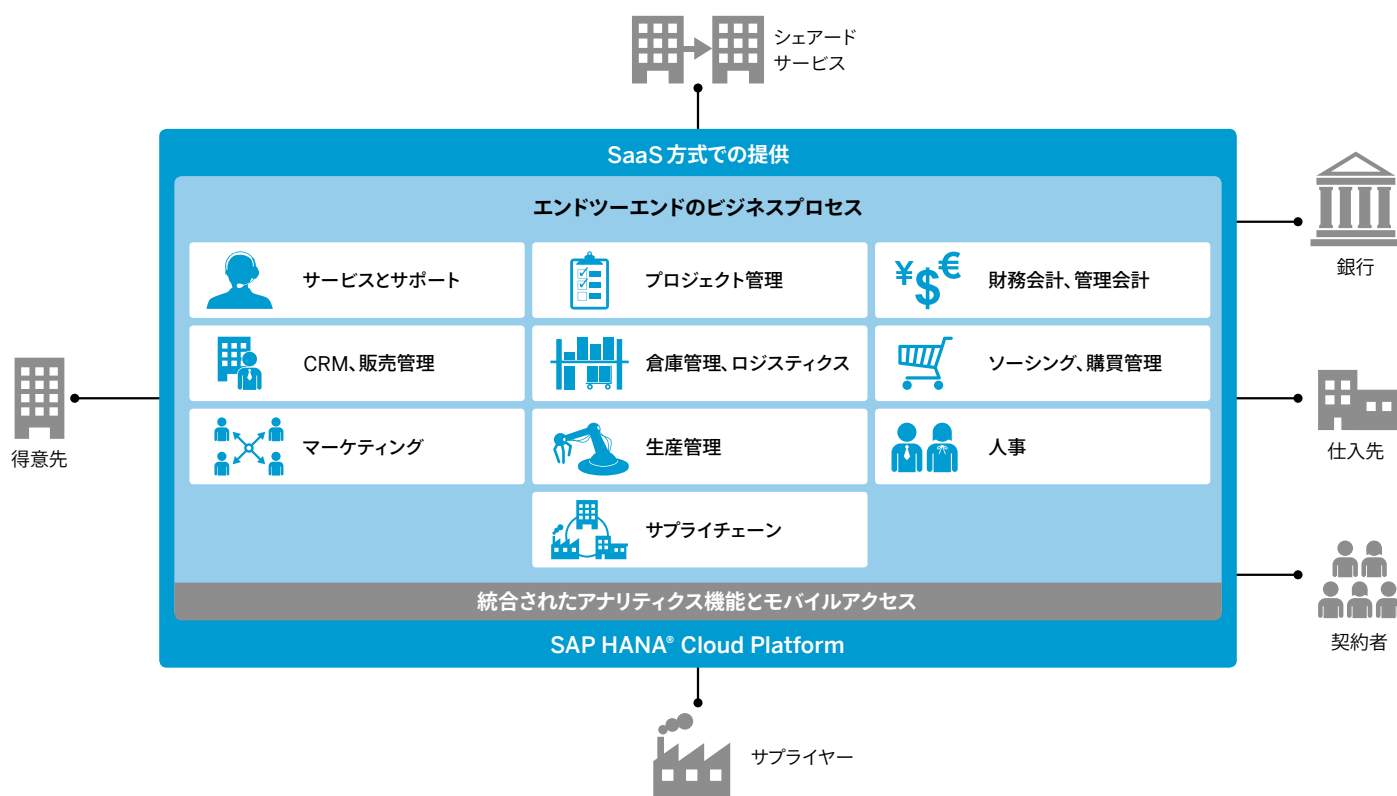
ビジネスプロセスとは、業務の発生から完了に至るまでの「仕事の進め方」そのものと言えます。しかし、多くの企業ではこのプロセスが最適化されておらず、「以前からそうだったから」という理由で非効率な手順が引き継がれていることもしばしばです。また、1つの企業内でも部門ごとに行われてきた申請や決済の手順が個別にルール化した結果、部門間や協業会社との連携が難しくなっている例も少なくありません。

SAP Business ByDesignには、ビジネスソフトウェアを40年以上にわたって世界190カ国、345,000社のお客様に提供してきたSAPの経験と専門知識が結集されています。SAPが世界各国および日本国内のお客様を支援する中で深めてきたさまざまな業種/業務領域への知見をもとに、SAP Business ByDesignでは**36種類の豊富なビジネスシナリオ**を提供しています。これにより、それぞれの業務領域における最適なビジネスの進め方(ベストプラクティス)を、即座に利用することが可能です。

SAP Business ByDesignが提供する、グローバルで標準的に使われているビジネスシナリオに沿って自社の業務を見直すことで、これまでの仕事の進め方に隠れていた非効率性や重複などを排し、改善を図ることができます。いわば自社の業務の「棚卸し」を行い、誰もが理解できるシンプルなビジネスプロセスを採用することによって、今後の飛躍的な成長に向けたERP活用のベースが構築できます。

業務の流れを整理することによって、目指すゴールへの最短距離が分かるようになります。つまり、最適なビジネスプロセスを選択すると、激しい変化を続ける市場のスピードに負けることなく、最短ルートで顧客満足度を最大化することにつながります。

SAP® Business ByDesign® がカバーする業務





SaaS型のソリューションの登場により、ERPはもはや大企業だけのものではなくなりました。中堅・中小企業のビジネスを、SAP® Business ByDesign® が最適なコストで支援します。

無理のないコストと短期間の導入で大企業と同等の機能を導入

中堅・中小企業がERPの導入をためらっていた理由の1つは、導入プロジェクトにかかる負担の大きさでした。かつてのERP導入の場合、組織横断的なプロジェクトを立ち上げ、1年を越える長期計画で実施する必要がありました。高度な専門知識を持った情報システム担当者やシステムインテグレーターなどの確保も重要で、初期投資となる導入コストも数億円規模と想定されていました。潤沢な予算、人員、時間を用意できない企業にとっては、ERPを選択肢に挙げることは難しかったと言っていたでしょう。

SAP Business ByDesignは、これまでの「長い、高い、難しい」というERPの常識をすべて覆すSaaS（サービスとしてのソフトウェア）型のERPソリューションです。クラウドを利用するため初期設備投資が不要となり、**平均3～4カ月という短い期間で導入できるようになりました**。導入後の複雑な設定も不要で、ERPの専門知識を持ったシステム担当

者を新たに手配する必要はありません。あらかじめ用意されたビジネスシナリオから必要な機能を選択することで、ビジネスプロセス全体を迅速かつ容易に構成できます。

運用コストの面では、明確なライセンス体系が設定されています。登録ユーザー数に基づいて課金されるシンプルな月額制のサブスクリプション方式を採用。ユーザーは使い方や使える機能によって3つのカテゴリに分類され、それぞれの設定価格で利用できます。まずは「スモールスタート」で運用を開始し、利用範囲が広がるにつれてライセンスを追加していくため、省コストかつ最適規模での利用スタイルが可能です。

また、導入に必要なのはPCとネットワーク環境のみで、自社でサーバーなどのインフラを購入する必要がないため、従来のオンプレミス型システムに比べて**初期導入コストを劇的に低く抑えられます**。

運用の効率化により、貴重なリソースを本業のビジネスに集中

SAP Business ByDesignの機能をフルに活用することで、**貴重な人的リソースを本来の業務に集中することが可能になります**。これは一般的な数値データの収集/分析だけではなく、従業員の役割に応じたメニューやレポートなど、役割ベースのビジネスプロセスが標準機能の中で広くカバーされているためです。

たとえば販売担当者は、従来のように経理課からExcelの売上一覧表を受け取り、数字を拾い出してレポートにまとめるといったルーティンワークが不要になります。SAP Business ByDesignから、あらかじめ設定しておいた項目を網羅した最新の販売状況レポートを定期的に受け取ることができるため、数カ月先の販促企画など、より利益向上に直結する業務にエネルギーを振り向けられるようになります。

SAP Business ByDesignがサポートするビジネス領域には、以下のようなものがあります。

- 財務会計やキャッシュフロー管理などの財務プロセスの最適化
- マーケティング、販売、流通、サービス強化による顧客満足度の向上
- 組織管理、人事部門の活動、従業員セルフサービスによる従業員の能力強化

- 製造、倉庫、ロジスティクス業務のデータ連携によるサプライチェーンの最適化
- 効率的なプロジェクト管理による、体系的なプロジェクトアプローチの採用
- 戦略的購買とオペレーショナル購買による、インテリジェントな購買サポート
- グローバル/ローカルレベルでの法律や各種基準の遵守
- 業績管理を通じた事業目標の達成

ERP自体のサポートやメンテナンスといった、システム保守業務の負荷も解消されます。SAP Business ByDesignはSAPが運営するデータセンターで更新、テスト、定期的メンテナンスが自動的に実行されるため、常に最新のシステムによる機能を、高いセキュリティのもとでいつでもどこからでも利用できます。

このように、SAP Business ByDesignはこれまで中堅・中小企業のERP導入の懸念材料となってきた要素を一掃し、すべての業務を統合的に管理するビジネス基盤を実現します。



お問い合わせ先

www.sap.com/japan/contactsap/ | 0120-786-727 (受付時間: 平日 9:00~18:00)

50000041 (SE/18/11) © 2018 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなして、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱漏等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び / 又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしに変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他のすべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する詳細の情報や通知に関しては、<https://www.sap.com/japan/about/legal/trademark.html> をご覧ください。

SAP® Business ByDesign® の実績 (2017年1月時点)



3,605社の
企業が導入



109カ国以上の
利用実績



82,000人以上の
ユーザー



130社以上の
ソフトウェアソリューションパートナーが
2,400個以上のアドオンソリューションを提供



175社以上の
大企業が子会社運営に利用

SAP® Business ByDesign® が提供する 36のビジネスシナリオ

- 現金と流動性管理
- 顧客契約管理
- 顧客返品管理
- 需要計画
- 経費精算
- フィールドサービスと修理
- 決算プロセス
- 固定資産管理
- 会社間のプロジェクトの時間と経費管理
- 会社間在庫転送
- 製造から在庫
- マーケティングから商談
- 受注から入金 (標準的なサービスの販売)
- 受注から入金 (プロジェクトベースのサービスの販売)
- 受注から入金 (在庫品の販売)
- 受注から入金 (サードパーティの販売)
- 受注から入金 (特殊品の販売)
- 店頭販売
- 給与と支払い
- 在庫管理
- 調達から支払 (非在庫品)
- 調達から支払 (サービス)
- 調達から支払 (在庫品)
- 製品カタログ管理
- 製品定義
- 製品開発
- 製品のエンジニアリング
- プロジェクト管理
- プロジェクトの品目
- 品質保証 (計画されてない点検)
- リクエストから問題解決
- リソース管理
- 戦略的ソーシング
- サプライヤー返品管理
- 労働時間管理
- 労働管理と承認

ビジネスシナリオの一例 (在庫販売 / 受注から入金)



これ以外にも、ベストプラクティスに基づく多くのビジネスシナリオが用意されています。

さらに詳しい情報は

SAP Business ByDesign についてのさらに詳しい情報は、SAP の担当者にお問い合わせいただくか、下記の Web サイトをご覧ください。

<https://www.sap.com/japan/product/enterprise-management/business-bydesign.html>

THE BEST RUN

